



地域の宝まとめ

新聞作るぞ!!

5、6年15人が方法学ぶ

勝山・平泉寺小で出前授業

勝山市平泉寺小で5日、NIE(教育に新聞を)出前授業が開かれた。5、6年生の児童15人が新聞の特徴や編集会議の方法などを学んだ。地域の宝をオリジナルの新聞にまとめる予定で、意欲を高めた。

福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターが講師を務めた。ニュース価値が大きいほど、大きな見出しになることや、思いを記事に盛り込むと伝わりやすいことなどを説明した。

編集会議で児童はグループに分かれて、どんな記事を書くかを話し合った。「平泉寺のソフトクリーム」「ヨシ刈り」「池ヶ原湿原」などど意見を出し合い、執筆の担当者を決めた。

5年の中村優里さんは「新聞作りの大変さが分かったので、夏休みはしっかり読みたい。平泉寺のことをみんなが好き、とってくれるような新聞を作りたい」と話していた。

勝山市は市内全小中でNIEに取り組んでいる。
(藪内弘昌)

出前授業で新聞に目を通す児童たち＝5日、勝山市平泉寺小